

第 94 回都市対抗野球大会東京都二次予選

初戦全府中野球倶楽部と対戦 8 回 11 対 0 コールド勝ち

三宮(先発・7 回)・中崎(セーブ・1 回)完封リーレ



東京都企業春季支部大会『優勝』四国大会・『準優勝』日立大会「四強」東北大会「予選 3 位」と公式戦は順調に推移いたしオープン戦 4 勝 1 敗対戦相手は都市対抗出場常連。

今大会は 4 年ぶり 7 回目の出場に向かって準備を整えてきた。期待大である。

二次予選初戦一次予選を勝ち抜いてきた全府中野球倶楽部との対戦明治安田生命は初回無死 2・1 塁チャンスを生かせず、3 回も 2 番新城のライト戦二塁打無死 2 塁を生かせず重い空気が応援席に漂う。先発三宮投手は 5 回まで 2 安打毎回三振の山を築き好投を続けている。5 回表 5 番森がセンター前クリーンヒット 1 死後 6 番永廣が左中間に森を迎える適時二塁打で重い空気に穴をあけた。6 回明治安田生命は 2 死走者なしから 2 四球・ダブルスチールで 2 死 3・2 塁と追加点のチャンス 5 番泉澤レフトへ二者を迎える 2 点適時打お見事。相手投手 8 回制球定まらず、3 四死球 1 押出、2 番新城の 2 点タイムリー 2 塁打、3



番福岡タイムリーで新城生還この回5点目。4番5番の連打と敵失で2点追加この回7点合計11点0と大きくリードで8回裏全府中野球倶楽部は1死からヒット出塁するも8回から継投の中崎投手が150kmk前後の速球で後続断ち8回11対0のコールド勝ち。

準決勝戦を強敵&ライバルチームセガサミーと5月24日、明治安田生命は代表獲得に向けた天下分け目の戦いです。勝と負けでは天と地。2019年5月から2023年3月まで9回戦い5勝4敗の成績。都市対抗出場を賭けた試合は2敗している。

今日の前半戦の打撃では一抹の不安を感じる。6回・8回の攻撃を前半で繰り広げられればチャンスはある。投手陣は今期に入り無駄な四死球がなく安定していると感じている。

明治安田生命	0	0	0	1	1	2	0	7		11
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
全府中野球倶楽部	0	0	0	0	0	0	0	0		0

バッテリー

明治安田生命 ○三宮(7回失点0)・中崎(1回失点0) — 森川・
 全府中野球倶楽部 ●長野(6回4失点)・篁(1回2/3 7失点) 平井(1/3) — 小野沢・大木
 二塁打 新城2・永廣2 明治安田生命

打順	守備	氏名	打数	安打	打点
1	三	橋内	3	1	1
2	二	新城	5	3	3
3	一	福岡	5	2	2
4	左	森	4	2	0
	中	鈴木	0	0	0
5	右	泉澤	4	1	2
	左	南保	1	0	0
6	中・右	永廣	4	2	3
7	遊	高瀬	4	0	0
8	捕	森川	4	1	0
9	指名	日置	3	1	0
	代走	岸本	0	0	0
		計	37	13	11



2023年5月22日
土田唯雄